

ふくいの森林・林業基本計画(案)の概要

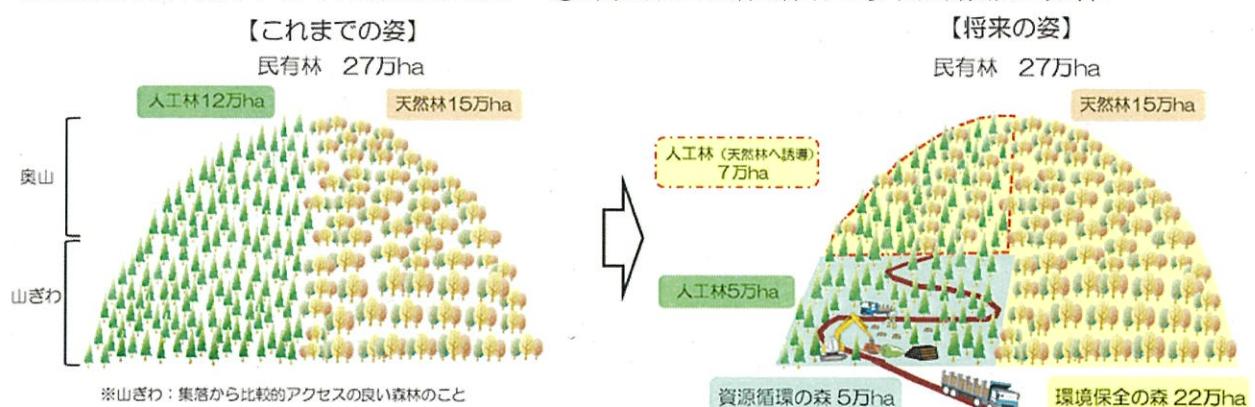
【基本理念】 育てる林業から、儲ける林業・稼げる林業に

(H30) (R6) (H30) (R6)
【数値目標】 県産材生産量 19万m³ → 25万m³ 林業生産額 23億円 → 30億円

【計画期間】 令和2年度～令和6年度(5年間)

【目指すべき森林の姿】

県内の民有林を2つにゾーニングし、それぞれに応じた森林整備を推進する
①資源循環の森:木材の持続的な生産 ②環境保全の森:森林の多面的機能の発揮



1 森を活かすプロジェクト ~充実しつつある森林資源の積極的な利用~

<プロジェクト目標> (H30) (R6)
間伐材積 12万m³ → 16万m³ 主伐材積 7万m³ → 9万m³

- ① 間伐の加速化と主伐の促進による循環型林業経営を推進
 - 主伐の促進による循環型林業経営と資源の有効活用を推進
 - 市町主体の間伐を推進
 - 低コストにつながる列状間伐を拡大
 - 県産苗木の供給体制を整備
 - 低コスト造林、育林方法の確立・推進
- ② 集落単位での取組みや新たな手法の導入による施業集約化の促進
 - 集落単位で取り組むコミュニティ林業を拡大
 - 森林所有の移転や交換による林地の集約化を推進
- ③ 林業経営の効率化に向けた生産基盤の整備
 - 航空レーザ計測等のICT技術の活用による森林情報の高度化
 - 生産性向上のための高性能林業機械の導入等を促進
 - 木材供給拡大のための路網(林道・作業道)を計画的に整備
- ④ 原木の安定供給システムの構築
 - 多様な需要に対応した原木の安定供給システムの構築
- ⑤ 森林経営・管理を担う人材を育成
 - 競争力のある林業事業体を育成
 - 若者や女性が活躍できる就労環境を整備
 - ふくい林業カレッジ等による人材の確保
 - 技術力のある人材を育成
 - 地域に根差した経営意欲の高い自伐林家を育成



高性能林業機械の導入
(ハーベスター)

2 木を活かすプロジェクト ~原木の価値に応じた木材需要の創出・拡大~

<プロジェクト目標> (H30) (R6)

県産材需要量 A材:5万m³ → 6万m³ B材:3万m³ → 8万m³ C材:11万m³ → 11万m³
(※A材:製材用の直材 B材:合板用の小曲材 C材:バイオマス・製紙用の低質材)

① 木材加工流通体制の強化による県産材の利用拡大

- 大規模工場の誘致によるB材需要の拡大
- 製材工場の連携による県産材製品の安定供給体制の整備
- 内装材等付加価値製品の安定供給を通じた県産材需要の拡大



大規模加工工場

② 県産材の家づくりの推進

- 住宅の新築およびリフォームへの県産材利用の推進
- 建築士等を対象とした研修会の開催
- プレカット工場と連携したパネル工法での利用の推進

③ 公共および民間施設の木造・木質化の推進

- 県・市町施設、民間施設の木造・木質化、木製品の導入を推進
- 中大規模施設の木造建築設計者の育成

④ 攻めの県産材の販路拡大

- 都市圏を中心とした県外の販路を拡大、アジア圏など海外の販路を開拓

⑤ 新たな分野における利用拡大

- 異業種企業との協働による県産材商品の開発、炭素繊維との複合化など新たな加工技術の開発

⑥ 木質バイオマスの利用推進

- 木質バイオマスボイラーの導入による熱利用の推進、木質バイオマス発電施設への燃料の安定供給

⑦ みんなでつかおう「ふくいの木」運動

- 木づかいイベントの開催による県産材利用の意識の醸成、木づかいの機会の創出
- 「ふくいの木使ってもらい隊」による木造・木質化の普及
- ふくいの木の利用の情報発信

3 森に親しみ、森を守るプロジェクト ~森林の多様な活用と森林保全の推進~

<プロジェクト目標> 新たな森林活用に取り組む団体 17団体

① 森林の多様な活用による山村の活性化

- 里山を活用するふくいSatoyamaトレインの拡充
- 森へ誘う森林体験を県内各地に展開
- ふくいの森林の楽しみ方や魅力を情報発信



Satoyamaトレイン

② 地域資源である特用林産物のブランド力強化

- 県産ブランドきのこの生産販売の促進(香福茸・極上マイタケ)
- 全国に誇れる特用林産物の生産技術を継承(くず、オウレン、研磨炭など)
- 地域ならではの品目の振興(ササ、シキミ、クロモジ、菊炭など)

③ 災害等から暮らしを守る森づくりの推進

- 事前防災・減災対策による災害に強い森づくりを推進
- 獣害や病虫害に強い森づくりを推進

④ 緑と花の県民運動を永続的に展開

- 全国植樹祭を契機に展開している緑と花の県民運動を推進

⑤ 北陸新幹線福井・敦賀開業に向けた観光地周辺等の花いっぱい運動の推進

- 駅や観光地周辺を中心に県内全域で花いっぱい運動を拡大・強化